

1 現総合戦略の取組状況と検証委員会における意見

□現総合戦略(R2～R6年度)における、指標達成状況（R5年度実績値）は、現時点においては全体的に低い状況にある。

	目 標	達成指標	未達成指標
基本目標	子育て世帯をターゲットとした教育環境の充実	2	5
	若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現	1	7
	みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大	1	6
	安心して住み続けられる環境づくりと移住促進	1	3
	地域特性に応じた魅力発信と定住促進	1	5
小 計		6	26
強化目標	民間との協働を推進	2	2
	誰もが活躍できる地域社会を実現	1	6
	都市部・他地域からのひとや資金の流れを強化	2	1
小 計		5	9
合 計		11	35

23.9% 76.1%

□取組状況から、特に課題となっている点として以下の内容が考えられる。

課題となっている点

- ・合計特殊出生率、年少人口、出生数が減少
(出生数・・・H30：330人 ⇒R5：255人)
- ・婚姻数（婚姻届受理数）が減少
(婚姻届受理数・・・H30：209件 ⇒R5：153件)
- ・子育てに不安を持つ保護者が減らない
(H30：33.1% ⇒R5：34.6%)



アンケート結果から

・みどり市 子ども・子育てニーズ調査（令和6年実施）において、行政に対して、どのような子育て支援を求めるか。の問に対して、「子育てにかかる経済的負担の軽減」が最も多く、次いで「天候に左右されることなく遊べる屋内遊具施設」、「子どもが遊べる公園などの屋外施設」と続いている。

【総合戦略検証委員会（第1回）での委員意見】

No	主な意見
1	少子化の要因としては経済的負担や晩婚化などがあり、奨学金返還への支援など、若者が将来に希望を持ち、結婚してもらうという視点での取組も必要ではないか。
2	出生率の上昇には、子どもを望むのかどうかということや、2人以上産もうと思うかがポイントである。まずは生の声を聞き取り、現状の施策とのギャップを分析することが必要なのではないか。
3	みどり市は地域ごとに人口特性がある。医療、福祉、子育て、介護、交通など、バランスの取れた整備・発展をしてほしい。また、職と住は重要なので、働く場の整備の推進を期待したい。
4	交流人口だけでなく地域別の定住施策が重要。年間を通じて、人を集める計画を立てて欲しい。

2 総合戦略改訂版の素案について

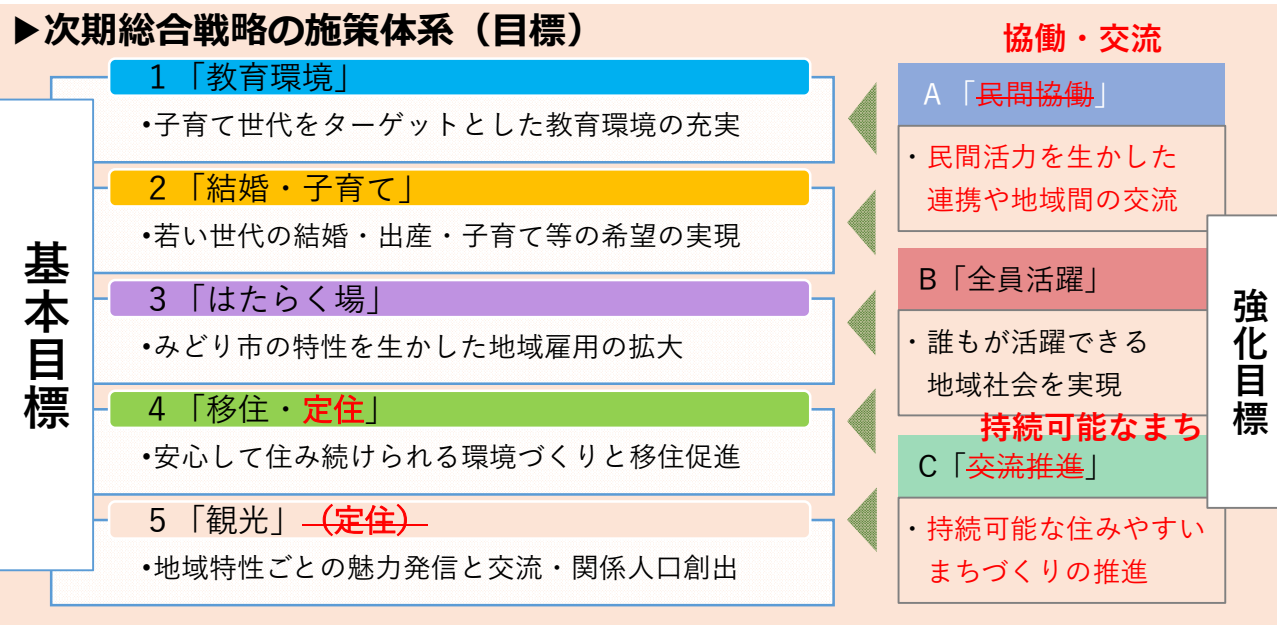
□総合戦略の取組状況やニーズ調査、検証委員会での意見等を踏まえ、次期総合戦略の目標や取組を設定する。

状況

- ・子育てに対する経済的不安が多い
- ・子育てしやすい環境（公園やあそび場）に対するニーズがある。
- ・SDGs未来都市への選定（誰もが住みやすいまちづくり）

考え方

- ・子育てや教育への取組については、現目標を継承しながら取組を強化するとともに、結婚支援策を推進する。
- ・移住、定住に向けた考え方や、観光面の今後の展望を踏まえ、目標を整理
- ・SDGsの考え方（持続可能なまち）を全ての目標に横断的に関わるように強化目標を設定



主な取組の方向性と指標設定

- ▶子育てに係る経済的支援の強化
 - ・保育料完全無償化/奨学金制度の充実
- ▶子育て環境向上に向けた公園などの整備
 - ・全天候型屋内あそび場整備/公園適正配置
- ▶働く場の確保など定住環境の整備と移住促進
 - ・企業誘致/移住支援金の充実 など

主な指標	現状値(R5)	目標(R11)
出生数	255人	310人
合計特殊出生率	1.24	1.80
社会増減数	195人減	20人増
子育ての不安を持つ保護者割合	34.6%	20.0%
婚姻届受理数	153件	230件



・こども未来基金を活用した「こどものための施策」を大きな軸として捉え、「住んでみたい」・「住み続けたい」と思えるまちづくりの推進に向けた今後の指針として、『みどり市まち・ひと・しごと総合戦略中期（改訂版）』を策定いたします。
※今後の予定・・・2月）議会報告・パブコメ 3月）最終調整後、策定

目標	改訂前	改訂後
1 教 育 環 境	1-① 安心できめ細かな教育実現 1-② 子育て世帯の学資援助 1-③ 将来を担う若者を支援 1-④ 小中一貫校の導入 1-⑤ 校外教育への支援	1-① <u>一人一人を大切に</u> <u>安心できめ細かな教育環境の整備</u> 1-② 子育て世帯の学資援助 1-③ 将来を担う若者を支援
2 結 婚 ・ 子 育 て	2-① 子育て応援情報の発信 2-② 働く親への支援策充実 2-③ 出産希望者の支援 2-④ 子育て世帯の経済的支援 2-⑤ 子育て環境の整備 2-⑥ 出会いの場の創出	2-① 子育て応援情報の発信 2-② 働く親への支援策充実 2-③ 出産希望者の支援 2-④ 子育て世帯の経済的支援 2-⑤ 子育て環境の整備 2-⑥ 出会いの場の創出
3 は た ら く 場	3-① 地域産業の活性化 3-② 産業の担い手育成 3-③ 産業活性化の基盤づくり	3-① 地域産業の活性化 3-② 産業の担い手の確保・育成 3-③ 産業活性化の基盤づくり
4 移 住 ・ 定 住	4-① 遊休資産の有効活用 4-② 転入者への積極的支援	4-① <u>魅力発信と交流人口の増加</u> 4-② <u>移住検討者への積極的支援</u>
5 観 光	5-① 多様な媒体で魅力発信 5-② 交流ゾーン の整備 5-③ 観光の広域連携 5-④ 独自イベントの実施	5-① 多様な媒体で魅力発信 5-② <u>観光施設の整備</u> 5-③ 観光の広域連携

A 協 働 ・ 交 流	【基本的施策】 A-① ボランティア・NPOとの協働 A-② 企業・団体との協働	A-① <u>市内団体・民間企業などとの協働</u> A-② <u>地域間交流・連携の推進</u> A-③ <u>地方創生のための財源確保</u>
B 全 員 活 躍	【基本的施策】 B-① 健康維持で生涯活躍 B-② 女性の社会進出支援 B-③ 障がい者の自立と共生	B-① 健康維持で生涯活躍 B-② 女性の社会進出支援 B-③ 障がい者の自立と共生
持 続 可 交 流 な 推 進 ま ち	【基本的施策】 C-① <u>地域間交流・連携の推進</u> C-② <u>地方創生のための財源確保</u>	※新規設定 C-① <u>行政のDX化の推進</u> C-② <u>三側面の循環を目指したまちづくりの推進</u>

統合

▶基本目標 1「教育環境」

現状

◆子どもの数が確実に減っている中で、
時代に合わせた教育の視点が不足
◆子育て世帯増加に対しての教育面からの
アプローチが不足

変更の考え方

【時代に合わせた教育環境の整備】

▶生徒一人一人へ対応
⇒ICTの活用、きめ細かい特色ある対応
▶安心して教育を受けられるみどり市
⇒奨学金制度の見直しによりU,Iターン
に繋げる

改訂ポイント

▶一人一人に配慮したきめ細かい教育環境の整備を中心とした施策の充実により、
子育て世帯の増加と流出の減少を目指す

▶基本目標 2「結婚・子育て」

現状

◆目標や方針に対して、子育てアプリの更新
などは行ってきたが、指標達成に向けた効
果的な取組が不足していた
◆経済的不安や子育て環境(遊び場 等)に
対するニーズが高い(アンケートから)
◆出生に関わる「結婚」への取組不足

変更の考え方

【具体的な子育て施策の推進】

▶ニーズへの対応
⇒保育料無償化、子どもの遊び場 等、
子どものための取組を強化
▶結婚や出会いの場への取組
⇒必要性を踏まえ、取組を本格化

改訂ポイント

▶「こどものための施策」を最重点に置き、
みどり市独自の「結婚・出産・子育て・教育までの切れ目のない支援」の充実を図る
▶「安心して子どもを産み育てやすいまち」「住んでみたい、住み続けたいまち」への事業展開

▶強化目標 C「持続可能なまち」

現状

◆デジタルの活用が不可欠
◆SDGs未来都市としての観点が必要

変更の考え方

【三側面の取組で持続可能なまち】

▶DX化の推進
▶安心して教育を受けられるみどり市
⇒"5ゼロ"を始めとした様々な連携に
よる持続可能なまちづくり

改訂ポイント

▶今の時代に必要な2つの視点を目標として新たに目標を設定

▶上記以外の各目標の考え方

「基本目標 3 はたらく場」
・企業が進出しやすい環境を整備（産業団地整備）

「基本目標 4 移住・定住」
・移住への「入口」となる施策（移住相談等）を強化

「基本目標 5 観光」
・「稼ぐ観光」の視点を踏まえた方針に変更

「強化目標 A 協働・交流」
・官民連携と地域間交流の取組を強化
（前戦略の強化目標AとCを統合）

「強化目標 B 全員活躍」
・「誰一人取り残さない」という視点で、
誰もが活躍できる環境を整備